

Mie Soto Young Priests' Association 青年会だより

第
34
号

発行所：三重県曹洞宗青年会
発行責任者：二村宏一 ☎(0599)25-2182
三曹青公式サイト <http://www.sansousei.com/>

三重県曹洞宗青年会

検索

就任挨拶

三重県曹洞宗青年会
第二十六代会長

二村宏一



拝啓 新春の候、管内ご寺院様には
新たな年を迎えられ、ますますご清
祥のことと拝察申し上げます。平素は
青年会活動にご理解ご協力を賜り厚
く御礼申し上げます。

この度、三重県曹洞宗青年会 第二
十六代会長を関係各位のご推薦、ご了
解を賜り、拝命させて頂くこととなり
ました。

三曹青には多才な人材が数多くい
る中で、愚生がその任にあたることは考

えてもおりませんでした。歴代におい
て、その任を全うされてこられた先輩
諸師には到底及びませんが、ご縁があ
りお声掛け頂いたことに感謝し、任期
を務めてまいりたいと存じます。

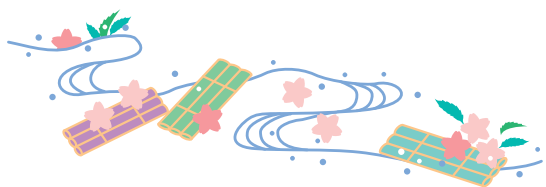
昨年は、三曹青は五十周年という大
きな節目を迎えさせて頂きました。三
年前より記念大会事務局を中心に準
備を進め、昨年の記念大会では演劇と
太鼓での布教をさせて頂きました。仏
教における静と動を表現された舞台
は、見に来て頂いた多くの檀信徒の
方々に感動していただきました。こう
して五十周年を迎えさせて頂いただけ
たのも、諸先輩方から現会員へと受け
継がれてきた情熱があったからだと思
います。

その上で、私たちは時代に向き合
い、檀信徒の心の支えとなり、学びの
拠点としての寺院づくりを心がけな
ければならないと思います。大きな課
題が山積しているこの時代であれば

こそ、私たち青年僧の力が
必要であるように感じま
す。

青年会の活動として緑蔭
禅の集いを中心に、月例研
修としての「見聞楽」、和太
鼓僧伽「鼓司」、IT事業等
は、いずれも大切にしてい
た基幹となる活動です。ま
た災害におけるボランティア
活動・托鉢・人権学習な
ど機会を見ながら、県内各
地で行えればと思っています。今後も
継続していきたい活動に関しまし
ても会員の皆様のご理解、ご協力を切
にお願ひし、また新たに活動してみたい
内容も皆で出し合い、行っていけ
ばと思います。

本年には第五十回を迎える緑蔭禅
の集いがあります。
緑蔭禅事務局も、例
年になく企画を考
えております。より
多くの参禅者の方
に来て頂き、座禅を
通して自分自身の
研鑽にも繋げてい
ければと思ってお
ります。
最後に、一層の仏
法興隆と寺門繁栄
を祈念し、就任挨拶
と代えさせて頂き
ます。
合掌



退任挨拶



第二十五代会長 武内亮道

三重県管内御寺院様、皆様におかれましては、益々御健勝にて、四衆接化にお忙しい事と拝察申し上げます。

私事、三重県曹洞宗青年会第二十五代会長を二年間務めさせていただきました。任期の間、三重県曹洞宗青年会に對しましてひとかたならぬご理解とご協力、賛助いただき衷心より厚く御礼申し上げます。振り返れば、走馬燈のように時間が過ぎました。二十四代松田徹英師より受け継ぎ、会員相互の研鑽である三佛忌法要、緑陰禪の集いと修養し、東日本大震災のボランティア活動を重ねてまいりました。

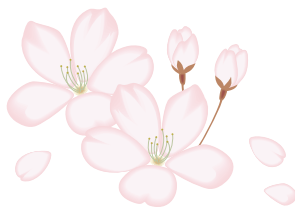
しかし、この二年間は、平成二十六年十月十九日に盛大に行われました、当会創立五十周年記念大会にむけた時間でもありました。大会事務局長に倉島隆行師に手腕を振るっていただき、第一部「生老病死について」演劇に藤原祥寛師、第二部「鼓司」による躍動感あふれる太鼓演奏に浦野将志師、沖繩慰霊法要を見事に企画した、牧野正人師、記念すべきレセプション担当の河村達磨師、全員の名前を記したいのですが、会員全員が各委員長について行き一丸となつて進めてまいり総合文化センター大ホールを満席にすることができました。思うに、これからの五十一年目からを担っていく青年僧侶の姿でありました。

そして、発会当時の貴重なお話を頂き、これからの時代につなげる事ができました。

また、管内御寺院諸先輩方、檀信徒方々、賛同いただいた関係各位の多大なるご理解と当会の益々発展の為のご協力の賜であります。本当にありがとうございます。

当会員は、これからの三重県を強い国レベルの活力源になる会員ばかりです。で、いままでは以上のご協力とご支援をお願いいたします。

最後になりましたが、管内御寺院様の山門繁栄、諸老師方の御健康と御多幸を祈念いたしまして退任のご挨拶といたします。ありがとうございました。 合掌



緑陰禪の集い 五十周年を迎えて

緑陰禪事務局長 牧野正人

新しい年を迎えまして、皆さまに於かれましては、新たに公私共々研鑽されていることと存じます。

この度、私は青年会総会にて緑陰禪担当を拝命致しました。何卒よろしくお願い申し上げます。

今年の日程は度会郡玉城町 廣泰寺様におきまして、七月二十五日(土)・二十六日(日)で行います。さて、緑陰を辞典で引きますと「青々茂

木の蔭」ですが、禪がつくと「青々茂った木が真夏の暑さから私たちの身を守るように蔭をつくり、自然と人との共存に感謝と畏敬の念が生まれる中で坐禪を行う」でしょうか。

今からおおよそ二五〇〇年以上も前の暁(夜明けの暗い中)にインドの地ブッダガヤの菩提樹のもとで坐禪をされていたつしやったお釈迦さまはお悟りを開かれました。お釈迦さまが入滅された後には達磨大師により中国に坐禪が伝えられ、その後、日本における禪宗の確立に宗門の曹洞宗も関わって参りました。

福井の大本山永平寺(曹洞宗)を開きになられた道元禪師が若かりし頃に「人間はもともと仏性(仏の性質)を持ち、そのままでは仏であるのに、なぜ仏になるための修行をせねばならぬのか」と悩まれ、師を探しに宋に渡られます。道元禪師の師、如浄禪師様と出会い、のちに道元禪師は坐禪についてこう云われます。



『坐禪は身心脱落なり(坐禪は私が...という執着から自分を抜け落ち解放する) 焼香、礼拝、念仏、お経を用いず、只管打座(ひたすらに坐禪)するのみ』と説かれました。

道元禪師の只管打座の教えを継ぐ私たちは坐禪を抜きにして禪宗を語ることはできません。

全国の青年会には各々「緑陰禪」活動があり、只管打座の教えを相承すべく、青年会が立ち上がったと云っても過言ではありません。お蔭さまで三重県曹洞宗青年会緑陰禪は、この七月に五十回記念を迎えます。

私たちは日常に於いて、自分の思惑通りにはならぬ苦しみを持ちます。その原因は身心の執着であります。例えば、物を持てば持つほど人は苦しむようになります。老いや病に對しても苦しみを覚えます。また、最愛の方を亡くされた苦しみもあるでしょう。しかし、世の中の移ろいゆく仮の姿の奥にある真実の姿をとらえることが出来るなら、どれだけ楽になるのでしょうか。

『坐禪は身心脱落なり』どうぞ皆さまご参禅下さい。

今まで参禅された事のない方、働き盛りの方や学生さんにも集まりやすいように、土日開催に致しております。

皆さまには五十回記念の緑陰禪をどうぞ楽しみに来て頂ければと思います。老若男女多くの方のご参禅をお待ちしております。

合掌



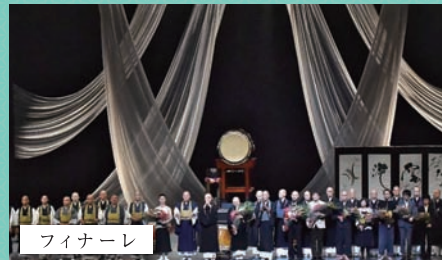
📷 青年会活動スナップ



第一部 演劇



第二部 鼓司



フィナーレ



27教区 如意庵
近藤 善隆



2教区 清泉寺
日比 規隆



8教区 積善寺
小林 堯弘



3教区 瑞光寺
余語 道昌

今年度4名の方々が青年会に入会致しましたのでご紹介いたします。
これから先の青年会を担ってまいります。ご指導の程宜しくお願い致します。

NEW
FACE

新しい青年会員

如担当よりのご案内

緑蔭禅担当 牧野 正人

この度、緑蔭禅の集い事務局局長を拝命致しました牧野と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年で、緑蔭禅の集いは五十回記念を迎えることになりました。それは諸先輩方のご尽力や蔭ながら応援して下さいました皆さまの支えで賜物あります。

さて、今から二五〇〇年以上前の晩にお釈迦さまが菩提樹のもとでお悟りを開かれました。お釈迦さまの入滅後にはインドより達磨大師が中国に坐禅を伝えられました。そして、中国より海を渡り日本に坐禅を確立されました道元禅師様の流れを私たち曹洞宗緑蔭禅の集いは正伝の仏法並びに坐禅を相承（引き継ぐ）しているのです。現在も通過点である事を念頭に於きまして、次世代にも相承できますように研鑽して参ります。

そして、今年七月二十五、二十六日の一泊二日の土日開催を予定しております。どうか皆さまのご指導ご鞭撻ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

伝道車担当 廣 賞佳

本年度より伝道車を担当させて頂くことになりました。どうぞ宜しくお願い致します。

伝道車布教月間の折には申し込み相談の上、教場の寺院様のもとで活動させて頂きます。たくさんさんの布教活動の場が出来る様お待ちしております。

伝道車の貸し出しも普段行っております。各種行事や御檀家様との交流等にご利用いただき、さらなる活動の場を広げて頂ければ幸いです。

月例担当 糸川 定伸

本年度より月例担当となりました。宜しくお願い致します。

今期は二村会長のたつてのご希望もあり、東日本大震災以降のボランティア活動や五

十周年記念事業等により、取り組みを休止して見聞楽を復活させる！ということを一歩のテーマに掲げ、取り組みを進めていきたいと考えています。そして、リニューアルされた『新・見聞楽』が三重県曹洞宗青年会の代名詞となる様な取り組みに仕上げ、今期に限らずこれから先も、末永く取り組んでいける活動にしていきたいと思ひます。皆様のご理解とご協力、宜しくお願い致します。

全曹青担当 井尻 憲導

全曹青係を担当させて頂いたことになりました、井尻憲導です。

今年度は全国曹洞宗青年会創立四十周年にあたります。その記念事業の一つとして、大本山総持寺二祖峨山留碩禪師六五〇回大遠忌奉賛『全国徒弟研修会 with 国際子ども禅のつどい』未来へ向けての大きな足音』を実施します。

平成二十七年三月二十六日（木）二十八日（土）の二泊三日。大本山総持寺にて開催します。是非ご参加下さい。

東海曹青担当 中岡 正仁

この度、東海管区曹洞宗青年会の担当となりました。昨年、大きな節目を迎えた三曹青で皆様と一緒に頑張っていければと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

鼓司担当 浦野 将志

本年度より前任の藤原伸彦師に代わりまして、鼓司の代表を務めさせていただきます浦野将志です。

昨年は五十周年事業での大舞台も無事に演奏する事ができました。本年もすでにたくさんさんの演奏依頼を頂いております。昨年に続いてマレーシアでの公演も決まりました。

メンバー全員で力を合わせて益々練習に打ち込み、ひとりでも多くの方に感動して頂けるよう努力して参りたいと思ひます。

また演奏依頼等、お近くの青年会員にお問い合わせください。

IT事業担当 永谷 達哉

IT事業部では本年度ホームページをリニューアル致します。三曹青の活動報告・各種イベントの告知はもとより、今回は参加申込み等もIT技術を使ってホームページで行っていただけだった様になっております。より多くの方に三曹青を知っていただけるよう今後も更に工夫をしていきたいと考えております。また、近年急速に普及しているスマートフォン・タブレットにも完全対応となっており外出先からでもサイズを変更することなく閲覧して頂けます。そして今まではなかったフォトギャラリー、会員紹介ページ等新しいコンテンツの開設、amazon、F、FacebookといったSNSとの連携も加わり今までよりもさらにリアルな情報提供が可能となります。皆様是非、新しくなった三曹青ホームページをご覧になってください。

ホームページアドレス
<http://www.sansousei.com>
または「三曹青」で検索下さい。

会費納入のお願い

平素は青年会活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

青年会の各活動は、みなさまの会費によって成り立っております。会費の納入がお済みでない方は、お近くの青年会員または、会計井上洋彰までお問い合わせください。

■正会員 一〇、〇〇〇円

■賛助会員 五、〇〇〇円

何卒ご理解いただきますよう
よろしくお願ひいたします。

事務局便り

昨年度は青年会五十周年記念事業がたくさんの方々を支えられ無事円成いたしました。心より御礼申し上げます。

さて、今年度より青年会執行部が新しくなりました。それぞれが手探り中、青年会五十年の歴史に恥じぬよう執行部一同、会員と協力し精進努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

◆今年度は「緑蔭禅の集い」が五十回目の節目の年になります。緑蔭禅担当を中心にすでに色々な計画を思案しています。気軽にご参加頂ける一泊二日の参禅会ですので、お檀家様やご近所様にお声かけ頂けると幸いです。

◆また数年前に始まり、震災ボランティアや五十周年事業で中断しておりました「見聞楽」も今年度より再開致します。五十周年事業で行ってきました「雲水カフェ」等も、この「見聞楽」に取り入れ、お寺や僧侶をもっと身近に感じてもらうと精一杯のおもてなしをさせて頂きまので御協力宜しくお願い申し上げます。

◆近年、青年僧侶が続々と青年会に参加して頂いており、色々な活動を行うことができるようになってまいりました。一人ではなかなか実現しにくい活動も、青年会では企画し参加することが出来ます。まだ参加しておられない各御寺院様の御弟子様、お知り合いの若い方にも一声かけて頂き、是非とも入会していただきますようお願い申し上げます。青年会活動により、今後の県内御寺院様の交流と親睦、また自己の研鑽がますます進んでいくものと確信しております。